

◆平成29年7月九州北部豪雨及び西日本豪雨の被災に伴う第33回災害ボランティア活動を平成31年2月23日（土）朝倉市杷木の林田地区の田んぼにおいて土砂撤去支援活動を実施しました。

今回は、筑後信用金庫役職員有志11名と、当金庫世話人の友人応援者1名合計12名で第33回災害ボランティア活動を実施しました。現在、朝倉市の復興活動は、農家からの依頼が減少する中、地元支援団体を通じての活動が継続中です。また、最近の新聞記事で紹介されていますが、仮設住宅の期限が残り約5カ月に迫る中、新たなニーズが出ている模様です。

当日は、前日からの雨が一変して晴天となりました。ただ冷たい風が吹いていました。午前9時から杷木復興支援ベース事務局大島氏から本日の作業内容および杷木の復興状況の説明が行われた後、資材を軽トラックに乗せ、活動現場林田地区の田んぼへ向かい、9時30分頃作業を開始しました。現地の田んぼは、昨年9月15日（土）に第31回災害ボランティアとして活動した現場であり、その後あまり進展はあっていないようでした。活動内容は、災害で積もった約40センチの土砂（真砂）を撤去するものです。土砂は、前日の雨により水分を含んだもので、土砂をスコップで掘ることも、一輪車で運搬することも、非常に疲れました。作業は、誰もケガすることなく、午後3時に活動を終了し、道具を洗って解散となりました。

昼食は、地元被災者の方が作られているボランティア弁当を今回依頼しましたが、参加者にすごく好評で次回も依頼する予定です。女性参加者の中には、帰りにハンバーガーをテイクアウトした人もいたようです。

杷木復興支援ベースのスタッフの皆さまおよび一緒に活動した皆さま、お疲れ様でした。
また、みかんや野菜の差し入れありがとうございました。おいしくいただきました。

< 活動状況 >



(作業風景 1)



(作業風景 2)



(作業風景 3)



(作業風景 4)